

県道高崎神流秩父線（矢田工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・周辺市町村や吉井ICへのアクセス性を高めてほしい。(地元住民)
- ・現道の渋滞がひどいので、バイパス整備により車の流れがよくなることを期待します。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市吉井町岩崎～矢田
- 事業内容: バイパス整備 延長1.9km 道路幅24.0m
- 事業期間: 平成29年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第1次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当(代替・補完路)
- 現在の交通量: 13,460台/日(現道 自動車)
(R3年度) 20人/12時間(現道 歩行者)
32台/12時間(現道 自転車)
- 計画交通量: 10,600台/日(現道 自動車)
(R22年度) 28,200～28,500台/日(バイパス 自動車)

事業前

- ◆ 現道は、朝・夕をピークとする慢性的な渋滞が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしています。



事業前の状況

事業後

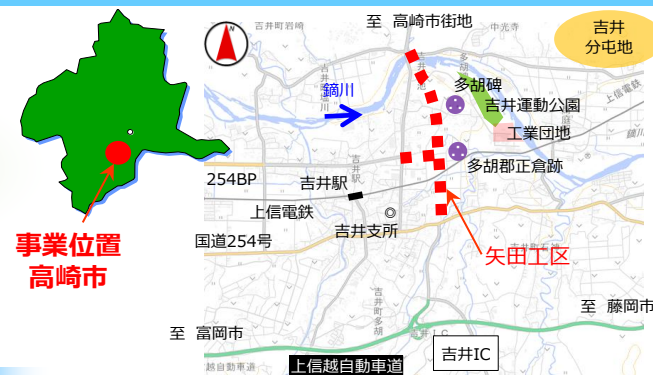
- ◆ バイパス整備により、現道の交通をバイパスに転換することで渋滞が解消され、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークが構築されます。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
移動時間(吉井分屯地～吉井IC)	11分
岩崎交差点の渋滞長	530m

実施後(目標)
7.5分(3.5分減少)
0m(530m減少)



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



令和7年度は用地取得の進捗を図るとともに、多胡橋の工事を引き続き実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了